

日本一のみかん産地和歌山県から、みかんの祖「橘（たちばな）」を広くPRしていきます。

**【要旨】**

この度、観音山フルーツガーデン（有限会社柑香園：和歌山県紀の川市）は、橘本神社様（海南市下津町橘本125番地）、有限会社実生企画御厨典子様（さいたま市大宮区天沼町2-1012）の多大なるご協力のもと、みかんの元祖「橘」のPRをするべく、取り組みを開始しました。

温州みかんの始まりは、1900年前に時の天皇の命を受けた田道間守（たじまもり）公が中国から持ち帰った「橘（たちばな）」の苗が始まりで、その橘が最初に植えられたのが、今の和歌山県海南市になります。

日本一のみかんの産地和歌山県で、みかんの祖「橘」を広く世の中にPRしていきたいと考えております。

なお、この取り組みにおける収益分は、すべて橘本神社様の社殿修復などのために御奉納させていただきます。

**概要**



（1）現在和歌山県が生産量1位の温州みかんですが、その先祖をたどっていくと「橘（たちばな）」という柑橘が発祥であることが分かります。

この橘は、今から約1900年前、第十一代垂仁天皇の命を受けた田道間守（たじまもり）公が中国に渡り、十余年の辛苦の末に持ち帰ったものです。

しかし、持ち帰った時には天皇はすでに崩御されており、田道間守公は落胆悲涙し、その橘を捧げて命絶えたといわれています。

その橘が最初に移植されたのが、旧橘本神社の旧社地「六本樹の丘」です。

（2）昔は果実がお菓子として扱われていたため、現在田道間守公は、みかんとお菓子の神様として、崇められています。

（3）温州みかんの日本一の生産量を誇る和歌山県のみかん発祥の物語として、広く橘をPRしていきたいと考えています。

（4）小中学校などで、このみかんの物語を教材として使用される場合には、「橘」を無償でご提供させていただきます。

（5）この取り組みにかかる収益分（500円）につきましては、すべて橘本神社様の社殿修復などのために御奉納させていただきます。

（6）この企画への賛同者の方も募っております。共にPRして頂けましたら幸いです。

内容 橘2個（葉付き観賞用1個+味見用1個：アクリルケース・乾燥材入り）、  
橘の説明書、橘のタグ付き

販売価格：1,000円（税込）

そのうち500円につきましては、橘本神社様へ御奉納させていただきます。）

URL： <http://www.kannonyama.com>

会社情報 観音山フルーツガーデン（有限会社柑香園）代表取締役 児玉典男

担当者：児玉芳典

〒649-6523 和歌山県紀の川市下丹生谷557

TEL：0736-73-4095 FAX：0736-73-3210

**【事業内容】**

- ・農産物の生産・販売（観音山レモン、観音山みかん等）
- ・農業体験の実施
- ・農業研修生の受け入れ